

小笠原何がれ
鷹書は雉乃
雌雄二つと記
の枝よつける
図をかくて奇
二首あり其の
山陰と松うけと

毛羽れなれなど又病などハあらやと改めたるはれ事や
めせらるハ鷹の口ぢとて毛羽を替れとなあるゆゑにあらひ
鷹のよあらひゆく鷹のあそびや

くれぬとてうら鷹れうらうら鈴をはめつ大徳さそひ
下ノ句用ひあそびさるべし能くえたる歌やもや合せぬ
らあゝ大徳さそひとさるやゆゑぬらあそび鈴をハわげを鈴ハ
つげくあそびう大徳とハ月ふのあそびや

山陰の川れほらうの鴨れあ枝あや鷹のとうとつげき
あゝあらあはつげぬめといふも山陰の川あれうあは
あゝあゝり鴨などうらうらあそびのあそびにある何のあゝくも